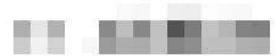


## 貝殻の種類と分布について



# 目次

①テーマ

②なぜこの研究をしようと思ったか

③調査地点

④調査結果

⑤感想



## ①テーマ

貝殻の種類と分布について

## ②理由

小学校の時に自由研究で貝殻集めをしました。

中学生になっても、貝殻に興味があったため集めるだけではなくどういう所にどんな貝殻があるのか分布についても調べてみたいと思いました。そして両親に近くに海岸につれていってもらいました。

いくつかの海岸や砂浜で、いろいろな種類の貝殻をみつけたので、名前を調べました。

### ③調査地点



# 調査結果

## 野母崎(黒浜海岸)

2024/8/20 16時頃

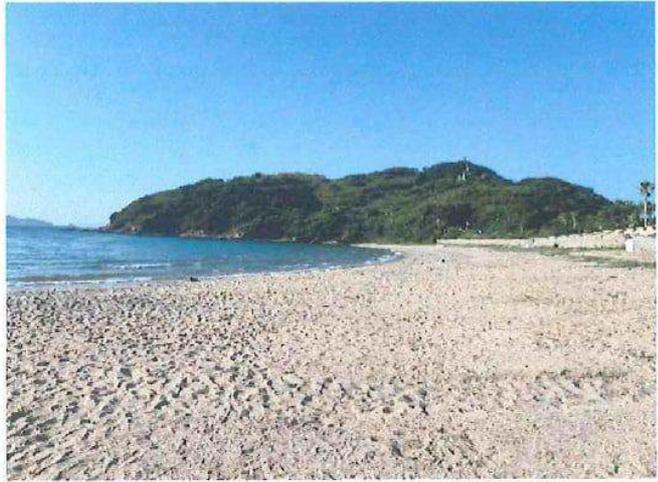


			
ヤタテガイ	イタヤガイ	イボキサゴ	ウラウズガイ
			
レイシガイ	ムギガイ	ムギガイ	ヒメクボガイ
			
ヒメヨウラク	ワスレガイ	マツムシ	シチクガイ
			
ヨメガカサ	トマヤガイ	シオフキ	ミミエガイ

			
カニモリガイ	チャイロキヌタ	テンガイ	ムラサキインコ
			
トウガタカニモリ	メダカラガイ	マガキガイ	ホソウミニナ
			
イシダタミ	フトコロガイ		

野母崎(高浜海岸)

2024/8/11 17時頃



スナガニのあな  
足が速いよ

		
<p>ヒメクボガイ</p>	<p>ホクロツクシ</p>	<p>シーガラス</p>
		
<p>ナミノコガイ</p>	<p>ルリガイ</p>	<p>ムシボタル</p>
		
<p>ソメワケオトメフデ</p>	<p>クロオトメフデ</p>	<p>チリボタン</p>
		
<p>マツバガイ</p>	<p>エガイ</p>	<p>イボニシガイ</p>

宮摺

2024/8/15

17時頃



			
ウラウズガイ	フトコロガイ	スズメガイ	マガキガイ
			
シーガラス	セキエイ	メダカラ	キクスズメガイ
			
カヤモリカニモリ	カリモリガイ		

出津海岸

2024/8/12 13時ごろ



			
ウラウスガイ	マガキガイ	カニモリガイ	セキエイ
			
キクスズメガイ	カヤモリカニモリ	ナミノコガイ	ジャモン岩
			
シーガラス			
			
タマキガイ	カノコガイ	タマキガイ	ベニフデ

## ④調査の結果

長崎市、西海市の砂浜や海岸で、打ち上げられた貝を中心に調査を行いました。

調査地点は、赤丸の3地点で行いました。五島の調査は2年前のを参考にしました。

調査方法は、打ち上げられた貝を直接採集しました。

最も多く採集された場所は、高浜海岸、黒浜海岸でした。これらの地点はどちらも五島灘に面した場所です。広い海に面した海岸で種類や数が多いようでした。

潮の流れにも関係があるんだなと思いました。

今回、長崎県にも外来種が流れ込んでくることがあると科学館の先生が教えてくれました。絶滅危惧種でも取れるところではたくさん見られるとのことでした。

西海市の出津海岸あたりは海がきれいでした。採集されたものは多くがオレンジ色の貝殻でした。

また、みやづり海岸に行きましたが、残念ながら数は多くはありませんでした。ですが、石英などの石がとてもきれいでした。

これらの地点と比較すると、一昨年、行った五島の高浜海岸や、香珠子海水浴場ではサイズが大きくてきれいな状態で見つかりました。海もとてもきれいでした。また行きたいと思いました。



## ⑤感想

僕は、今回の調査で改めて貝殻は美しく面白いなと思いました。僕は、調査の前にインターネットで貝殻がたくさんあるという海岸を調べました。

しかし、調査を進めるにつれ、本当に自分が考えている貝殻の名前と拾った貝殻の名前が同じなのか疑問に思いました。

そんな中、長崎市科学館のイベントで「採集品分類会」があることを知り、参加してみると貝殻の専門の先生が僕の疑問について詳しく教えてくれました。

すると、調べた名前が間違っている貝殻もあり、難しい貝殻は何人かの先生が専門の辞典で調べて教えてくださいました。小さい貝殻はルーペを使って調べてくださいました。貝殻は奥が深いなと思いました。

なので僕は同じ貝殻でも見る視点がかわればもっといろいろな楽しみ方があるとわかりました。

毎年、探してみると、自然と名前も覚えるよ、といわれたので、これからも頑張っていきたいです。

